

業 種	タクシー
取組分野	教育・訓練
テーマ	ドライブレコーダーを活用した急発進・急停止減少プロジェクト
取組の狙い	ドライブレコーダーの機能を活用し、事故につながりやすい急発進・急停止の回数等を自動的に記録、把握するとともに、事故、ヒヤリ・ハット時の映像データを点呼時の教育用に活用し、乗務員の意識向上を図る。
具体的内容	<p>1. 帝都自動車交通(株)では、平成 20 年度、タクシー全車両を対象とし、以前に導入したデジタルタコグラフ(以下、「デジタコ」という。)に新たにドライブレコーダーを連動させたシステムを導入しました。</p> <p>自動的に急発進・急停止が行われた時刻や回数を記録し、点呼時に管理者がこれを把握できるシステムを構築、これを活用して、「事故の芽」となる急発進、急停止の回数を減らすことにより、事故の未然防止を図る全社的な運動を展開しています。</p> <p>なお、急発進・急停止の回数が多い乗務員には、個別に指導を行っています。(別添図参照)</p> <p>2. また、急発進・急停止時の映像、時刻、場所や、ブレーキ、ウィンカーの作動データなどまで記録し、デジタコでは認識できなかったことが映像で見えるというドライブレコーダーの特長を活用し、</p> <p>①事故、ヒヤリ・ハットの典型的な事例については、映像を点呼時の運転士教育用として利用</p> <p>②事故、ヒヤリ・ハットの多発場所の把握</p> <p>③事故が起きた場合の正確な状況把握等にも用いています。(別添図参照)</p>
取組の効果	ドライブレコーダーの導入等の結果、特に実車中の急発進・急停止の件数が少なくなりました。また、事故発生状況の正確な把握ができることにより、乗務員への的確な指導・教育が確実に実施できるようになりました。
事業者名	帝都自動車交通(株) (連絡先:営業部 電話 03-5621-3652)



点呼場におけるドラレコの映像を用いた事例紹介



ドラレコの映像を用いて個人指導